【R6.4.8】令和6年度 八王子市立第四中学校 第78回 入学式 式辞

本日、入学式を迎えられた第四中学校76名の新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。

ご臨席賜りました八王子市教育委員会学校教育課 東郷 信一 学校給食課長、ご列席の第二小学校校長 土屋 英二 様、第五小学校 校長 西村 実 様、本校学校運営協議会の皆様、地域の町会長の皆様、そして本校教職員とともに、皆さんの入学を心からお祝い申し上げます。また、皆さんの成長を支えてこられました保護者の皆様、関係者の皆様にお祝い申し上げます。

さて、義務教育9年間を見通したとき、これからはじまるあなたにとっての中学校3年間は「まとめ」として位置付けることができます。小学校6年間で積み重ねてきたことを振り返り、次の3年間でどのようなものにするか？3年後の具体的な自分の姿で目標を立てられるといいですね。

あなたがこれからの3年間の目標を立てるにあたって、基礎となること2点お話しします。

第1は、あなたが生活する地域の「四中で学ぶ意味」です。実は、高等学校、大学等へ進学するにつれて、自分に近い人との付き合いが多くなっていきます。しかし、あなたが生き、活躍するグローバル社会を生き抜くためには、育った背景や考え方の異なるいろいろな人と生活したり、協力して課題を解決したりする「知恵」を身に付けておく必要があります。その点で四中は、異なるいろいろが集まった「社会」そのものです。ちょっと苦手だと感じる人もいるでしょう。きっと人間関係において嫌な思いをするでしょうし、悔しい思いをすることもあるでしょう。しかし、最初は分かり合えず、対立していたのに、言葉と行動を尽くすことで、分かり合えるようになる。そんな経験をこの3年間でたくさんして、「いろいろな人と生きる知恵」を身に付けてください。

第2は、「勉強することの意味」です。これはほとんどの場合、今すぐには分からないということです。例えば、あなたは「この教科の勉強は社会に出たときに本当に意味があるのかな？」なんて思ったことはありませんか？ありますよね。確かに思うことはあるし、それは自然のことです。問題は、これを理由に勉強から逃げることです。将来になって「ああ、このためだったか」と勉強したことを実感する場面があるかもしれませんが、それは稀です。実感する機会がないまま、勉強したことを活かして、あらゆる課題解決をしているというのがほとんどです。「勉強することの意味」を敢えて整理すると、「自分の可能性を広げるため」「いつ来るか本当に分からない、いつかのため」であり、人間という生き物もつ高度な知性による「おもしろいから」です。だから「勉強することの意味」が、今、分からないことを理由に逃げてはいけません。この3年間で、勉強しながら「卒業後もどのようにして自分は学び続けるか」いろいろと考えてみる期間にしてみてください。

保護者の皆様、改めてお子様の中学校へのご入学おめでとうございます。本校はお預かりするお子様の健やかな発達・成長を、全教職員がチームとして一体となり指導・支援してまいりますことをお約束します。そしてもう一つ、お子様と直接かかわる私たちが、協力し合ってお子様の心と体の健康、そして命を守り抜くということです。私は、「自宅、家庭、家族、とりわけ保護者」は、子どもにとって絶対的に心が休まる、守られる場所であり存在であるべきだと考えています。何卒、ご理解とご協力をお願いします。

結びにあたり、新入生の皆さんが、新入生同士はもちろんのこと、本校の在校生と大いに切磋琢磨し、義務教育9年間の積み重ねにより「他の誰のものでもない、あなただけの道を歩けるようになる」ことを期待して、式辞といたします。